



2020年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年10月12日

上場会社名 株式会社 ホテル、ニューグランド
 コード番号 9720 URL <https://www.hotel-newgrand.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 原 信造

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 岸 晴記

TEL 045-681-1841

四半期報告書提出予定日 2020年10月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第3四半期の業績(2019年12月1日～2020年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|----------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年11月期第3四半期 | 2,008 | 45.9 | 855 | | 781 | | 1,063 | |
| 2019年11月期第3四半期 | 3,714 | 2.9 | 96 | | 103 | | 147 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|----------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年11月期第3四半期 | 902.61 | |
| 2019年11月期第3四半期 | 125.85 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年11月期第3四半期 | 7,757 | 1,902 | 24.5 | 1,613.94 |
| 2019年11月期 | 8,259 | 2,925 | 35.4 | 2,487.41 |

(参考)自己資本 2020年11月期第3四半期 1,902百万円 2019年11月期 2,925百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年11月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 2020年11月期 | | 0.00 | | | |
| 2020年11月期(予想) | | | | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|-------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,879 | 43.8 | 1,035 | | 971 | | 1,253 | | 1,064.03 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年11月期3Q | 1,179,199 株 | 2019年11月期 | 1,176,334 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年11月期3Q | 293 株 | 2019年11月期 | 235 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年11月期3Q | 1,177,806 株 | 2019年11月期3Q | 1,174,997 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (追加情報) | 6 |
| (四半期損益計算書関係) | 6 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2019年12月1日～2020年8月31日)におけるわが国の経済は、消費税引き上げ後、景気は後退局面に入っておりますが、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調にあるものと判断されてきました。しかしながら、年初以降、新型コロナウイルスが世界規模で感染拡大しており、いまだ収束の兆しが見えないなか、国内外とも景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社におきましては、2020年4月7日に日本政府より発令された緊急事態宣言を受け、2020年4月8日よりレストランの一部営業休止及びご提供メニュー・営業時間の変更を、支店である高島屋横浜店 ルグラン、そごう横浜店 バー シーガーディアンⅢの営業を一時休業いたしました。また2020年4月29日から5月31日までの間、ホテル全館の営業を一時休業いたしました。

2020年6月1日から緊急事態宣言の解除を受けホテル全館で営業を再開し、2020年7月からはG o T oトラベルキャンペーンが開始されたことなどにより徐々に回復に向かっているものの、需要低迷が引き続いております。

このような状況のもと、当第3四半期累計期間の売上高は、2,008,529千円(前年同四半期比45.9%減)となりました。

販売費及び一般管理費は、2,267,712千円(前年同四半期比16.1%減)となりました。営業損失は855,766千円(前年同四半期は96,529千円の営業損失)、経常損失は781,946千円(前年同四半期は103,359千円の経常損失)となりました。

また、当第3四半期累計期間の四半期純損失は1,063,104千円(前年同四半期は147,872千円の四半期純損失)となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会(婚礼)需要が強くなり、売上高が多く計上される傾向があります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ホテル事業)

ホテル事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,967,946千円(前年同四半期比46.4%減)、営業損失883,809千円(前年同四半期は126,499千円の営業損失)となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門543,577千円(前年同四半期比46.9%減)、レストラン部門646,373千円(前年同四半期比38.4%減)、宴会部門605,008千円(前年同四半期比53.9%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高40,583千円(前年同四半期比6.9%減)、営業利益28,042千円(前年同四半期比6.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の分析

(資産)

資産合計は7,757,441千円(前事業年度末比502,368千円減)となりました。

主な要因は現金及び預金38,369千円の増加や、売掛金154,722千円の減少、未収消費税等41,479千円の増加、有形固定資産430,136千円の減少などです。

(負債)

負債合計は5,854,760千円(前事業年度末比520,387千円増)となりました。

主な要因は買掛金250,970千円の減少や、短期借入金800,000千円の増加、未払費用167,001千円の減少、未払消費税等70,649千円の減少、前受金43,539千円の減少、長期借入金300,000千円の増加などです。

(純資産)

純資産合計は1,902,680千円(前事業年度末比1,022,755千円減)となりました。

主な要因は四半期純損失1,063,104千円や、その他有価証券評価差額金の増加32,427千円などです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本日公表の「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2019年11月30日) | 当第3四半期会計期間 (2020年8月31日) |
|---------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 381,375 | 419,744 |
| 売掛金 | 324,936 | 170,214 |
| 原材料及び貯蔵品 | 104,510 | 99,004 |
| 未収還付法人税等 | - | 4,451 |
| 未収消費税等 | - | 41,479 |
| その他 | 35,256 | 42,219 |
| 貸倒引当金 | △90 | △30 |
| 流動資産合計 | 845,988 | 777,083 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 7,809,277 | 7,690,756 |
| 減価償却累計額 | △4,611,102 | △4,692,916 |
| 建物(純額) | 3,198,174 | 2,997,839 |
| 建物附属設備 | 5,723,696 | 5,676,636 |
| 減価償却累計額 | △4,589,888 | △4,677,450 |
| 建物附属設備(純額) | 1,133,807 | 999,185 |
| 土地 | 2,553,615 | 2,553,615 |
| その他 | 1,970,845 | 1,967,237 |
| 減価償却累計額 | △1,674,068 | △1,739,187 |
| その他(純額) | 296,777 | 228,050 |
| 建設仮勘定 | 26,452 | - |
| 有形固定資産合計 | 7,208,827 | 6,778,691 |
| 無形固定資産 | 48,866 | 56,733 |
| 投資その他の資産 | 156,126 | 144,932 |
| 固定資産合計 | 7,413,821 | 6,980,357 |
| 資産合計 | 8,259,809 | 7,757,441 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 359,456 | 108,485 |
| 短期借入金 | 900,000 | 1,700,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 445,000 | 445,000 |
| 未払費用 | 315,623 | 148,621 |
| 未払法人税等 | 15,105 | - |
| 未払消費税等 | 70,649 | - |
| 未払事業所税 | 15,789 | 11,780 |
| 前受金 | 190,075 | 146,535 |
| 引当金 | 5,453 | 39,147 |
| その他 | 135,614 | 58,237 |
| 流動負債合計 | 2,452,767 | 2,657,808 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,195,000 | 1,495,000 |
| 長期未払金 | 24,400 | 24,100 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 503,998 | 503,998 |
| 退職給付引当金 | 865,282 | 888,318 |
| 長期預り保証金 | 281,508 | 276,508 |
| その他 | 11,416 | 9,027 |
| 固定負債合計 | 2,881,606 | 3,196,952 |
| 負債合計 | 5,334,373 | 5,854,760 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2019年11月30日) | 当第3四半期会計期間 (2020年8月31日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,007,581 | 2,011,878 |
| 資本剰余金 | 301,534 | 260,796 |
| 利益剰余金 | △44,534 | △1,063,104 |
| 自己株式 | △714 | △887 |
| 株主資本合計 | 2,263,866 | 1,208,683 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △32,427 | - |
| 土地再評価差額金 | 693,996 | 693,996 |
| 評価・換算差額等合計 | 661,569 | 693,996 |
| 純資産合計 | 2,925,435 | 1,902,680 |
| 負債純資産合計 | 8,259,809 | 7,757,441 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自2018年12月1日 至2019年8月31日) | 当第3四半期累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 3,714,585 | 2,008,529 |
| 売上原価 | 1,108,215 | 596,584 |
| 売上総利益 | 2,606,370 | 1,411,945 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,702,899 | 2,267,712 |
| 営業損失(△) | △96,529 | △855,766 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 1,883 | 1,872 |
| 還付加算金 | 367 | - |
| 受取保険金 | - | 36,554 |
| 雇用調整助成金 | - | ※1 47,269 |
| その他 | 334 | 57 |
| 営業外収益合計 | 2,584 | 85,754 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,102 | 11,838 |
| その他 | 312 | 95 |
| 営業外費用合計 | 9,414 | 11,934 |
| 経常損失(△) | △103,359 | △781,946 |
| 特別利益 | | |
| 雇用調整助成金 | - | ※1 68,493 |
| 特別利益合計 | - | 68,493 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 3,815 | - |
| 減損損失 | - | ※2 200,748 |
| 投資有価証券評価損 | 40,485 | 41,811 |
| 臨時休業による損失 | - | ※3 105,255 |
| 特別損失合計 | 44,300 | 347,815 |
| 税引前四半期純損失(△) | △147,659 | △1,061,268 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 213 | 1,835 |
| 法人税等合計 | 213 | 1,835 |
| 四半期純損失(△) | △147,872 | △1,063,104 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令や活動自粛要請などが、経済や企業活動に影響を与えており、一部営業休止やホテル全館の営業を一時休業いたしました。緊急事態宣言は全面解除されましたが、引き続き需要低下が予測され、当社は、翌四半期以降、徐々に持ち直し2023年11月期に収束に向かうと仮定して会計上の見積り(固定資産の減損損失の検討、継続企業の前提に係る資金繰りの検討等)を実施しております。

これにより、当第3四半期累計期間において、減損損失200,748千円を計上しております。

なお、当該見積りは現時点での最善の見積りであるものの、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であることから、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合、上記の見積りの結果に影響し、翌四半期以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期損益計算書関係)

※1 雇用調整助成金

当第3四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金であります。なお、臨時休業による損失に対応する雇用調整助成金は特別利益に計上しております。

※2 減損損失

当第3四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

当社は以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

| 場所 | 用途 | 種類 |
|-------|-------|----------------------------|
| 横浜市中区 | ホテル事業 | 建物、建物附属設備、工具、器具及び備品、建設仮勘定等 |

当社は、原則として、他の資産又は資産グループのキャッシュ・フローから概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位によって資産のグルーピングを行っており、重要な処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

営業活動から生じる損益が継続してマイナスであることから、帳簿価額を全額回収できる可能性が低いと判断した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(200,748千円)として特別損失に計上しました。その内訳は、建物118,520千円、建物附属設備47,059千円、工具、器具及び備品8,714千円、建設仮勘定26,452千円であります。

なお、当該資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、不動産鑑定評価基準に基づく、鑑定評価額を使用しております。

※3 臨時休業による損失

当第3四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、お客様と従業員の安心・安全確保の観点から4月29日から5月31日までの間、ホテル全館の営業を休業いたしました。

このため、休業期間中に発生した固定費(人件費・減価償却費など)105,255千円を臨時休業による損失として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期損益計算書計上額(注) |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|-----|----------------|
| | ホテル事業 | 不動産賃貸事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,671,008 | 43,576 | 3,714,585 | - | 3,714,585 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 3,671,008 | 43,576 | 3,714,585 | - | 3,714,585 |
| セグメント利益又は損失(△) | △126,499 | 29,970 | △96,529 | - | △96,529 |

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期損益計算書計上額(注) |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|-----|----------------|
| | ホテル事業 | 不動産賃貸事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,967,946 | 40,583 | 2,008,529 | - | 2,008,529 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 1,967,946 | 40,583 | 2,008,529 | - | 2,008,529 |
| セグメント利益又は損失(△) | △883,809 | 28,042 | △855,766 | - | △855,766 |

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位: 千円)

| | 報告セグメント | | | 全社・消去 | 合計 |
|------|---------|---------|---------|-------|---------|
| | ホテル事業 | 不動産賃貸事業 | 計 | | |
| 減損損失 | 200,748 | - | 200,748 | - | 200,748 |